



登り窯



作業場外観



登り窯



作業場



サイン



平山 賢治
Kenji Hirayama

1947年伊万里市生まれ。
独学で唐津焼を学び、平成元年より唐津に拠点を移して作陶。

- 駐車場
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

中の辻窯



唐津市浜玉町横田下 668
TEL.0955-56-6589

唐津へUターンし、独学で唐津焼の世界に飛び込んだ平山さん。どれ1つとっても表現が面白く、磁器と比べても人に優しいのが唐津焼の魅力だと話す。唐津焼への飽きることはない探究心が、平山さんの作陶のルーツだ。古唐津はお手本であるが、人が作らない作品をつくりたいと日々研究を続けている。

お客さんのために作品をつくることはせず、今の時代に見失いがちな味や感覚を取り戻せるように、自分の信じる物をつくりたい。最近では唐津焼にこだわらない、新たなものづくりにも挑戦されている。自由な発想と真つすぐな心が平山さんの魅力だ。

独学で身につけた、自由の美学。